

2 交通局平成24年度の予算編成について

(1) 基本的な考え方

市営交通事業は、市バス・地下鉄の一体的なネットワークにより、市内全域で、安心・安全で快適な交通サービスを提供し、市域内の移動において公共交通利用の約9割を担うなど、市民やお客様の日常生活を支える重要な役割を果たしています。

平成24年度は、市営交通事業経営健全化計画の中間年であり、計画の目標を達成するため、諸施策を着実に推進し、市営交通事業の役割を確実に果たしていくことができるよう、関係法令等を遵守し、交通事業者の最大の使命である輸送の安全を確保するとともに、お客様サービスの向上に向け、取り組んでまいります。

(2) 主要事項

①安心・安全な運行

お客様に安心してご利用いただけるよう安全を最優先に、市バスには事故の削減に向け、運行時の映像やデータを記録するドライブレコーダーの整備を完了するとともに、地下鉄では転落等を防止するため、東山線への可動式ホーム柵の設置に向けた車両改造などを進めます。

また、猪高営業所、藤が丘工場の耐震改修などの災害対策に努めます。

②快適で利用しやすい市バス・地下鉄

ノンステップバスの購入、地下鉄駅エレベーター等の整備や東山線・鶴舞線のバリアフリーに配慮した車両の購入など、どなたでもご利用しやすいようにバリアフリー化を進めます。

③収入の確保

「マナカ」の利便性向上のため、平成24年春にJR東海の「TOICA」との相互利用を、平成25年春には全国の交通系ICカードとの電子マネー機能も含めた相互利用サービスを実施するとともに、平成24年8月の市営交通90周年を記念し、市バス・地下鉄を積極的にPRするなど、多くのお客様にご利用いただけるよう利用促進に努めます。

また、地下鉄駅に構内店舗や自動販売機、ATMを増設することにより、収入の確保に努めます。

④経営の効率化

給与カットの継続や市バスの管理の委託の拡大など業務の委託化を進めるとともに、経費全般について節減に努めます。

(3) 新規・拡充事項

(単位：百万円)

番号	事項名	概要	平成23年度 予算額	平成24年度 見積額
1	ICカード「mana」利用拡大の推進	交通系ICカードとの相互利用サービスの実施 平成24年春実施予定 JR東海の「TOICA」 平成25年春実施予定 JR東日本の「Suica」など 全国の交通系ICカード	831	53
2	バス車両のドライブレコーダーの整備	平成24年度整備車両数 256両 (全車両整備完了)	80	63
3	バス車両の購入	ノンステップバス車両の購入 2両 (平成24年度末整備率98%)	1,694	40
4	地下鉄東山線可動式ホーム柵の整備	可動式ホーム柵の設置に向けた、定位置停止のための車両購入及び改造等 購入 18両 (3編成) 改造 30両 (5編成) (平成27年度全駅完成予定)	2,603	2,655
5	地下鉄駅エレベーター等の整備	継続 3駅 (今池、国際センター、久屋大通)	389	368
6	地下鉄鶴舞線車両の購入	新型車両の購入 6両 (1編成)	900	784

※事項名、見積額等については今後変更になることがあります。

(単位：百万円)

番号	事項名	概要	平成23年度 予算額	平成24年度 見積額
7	バス営業所等の耐震対策	改築 藤が丘合同事務所 耐震改修 猪高営業所、藤が丘工場	—	154
8	市バスの管理の委託の拡大	野並営業所 (平成24年4月実施予定)	—	—
9	バス車両保守業務の委託の拡大	車検業務を委託する営業所の増等	—	—

※事項名、見積額等については今後変更になることがあります。

(4) 廃止・縮小事項

(単位：百万円)

番号	事項名	概要	平成23年度 予算額	平成24年度 見積額
1	交通局サービスセンター（定期券うりば）の見直し	地下鉄全駅での定期券の発売による取扱件数の減少に伴う見直し 9→3カ所	309	233

※事項名、見積額等については今後変更になることがあります。